

## エンジニアの評価シート

### 【テンプレート】

氏名:

所属部署:

職位:

評価対象期間:

#### 1. 技術スキル・知識

現在の業務で必要な技術知識やスキルのレベル、専門性、スキルアップへの取り組み状況などを記入してください。

#### 2. 業務遂行力

与えられた業務に対する理解力、納期意識、作業の正確さやスピードなど、業務を遂行する力について評価してください。

#### 3. チームでの協働・コミュニケーション

チームメンバーとの連携、報連相の適切さ、周囲との協力姿勢などを評価します。

#### 4. 問題解決力・主体性

業務中の課題に対する対応力や、自ら改善策を考えて実行する力を記入してください。

#### 5. 成果・実績

評価期間中に達成した開発成果、業務改善、社内外への貢献などを具体的に記載してください。

#### 6. 自己評価・今後の目標

自己評価を記入し、今後取り組みたい技術やプロジェクト、成長のための目標を具体的に記載してください。

## 7. 上司からのフィードバック

成果や取り組みへの評価、今後の期待や改善点を前向きな表現でフィードバックしてください。

### 【例文】

氏名 田中 太郎

所属部署 開発部

職位 システムエンジニア

評価対象期間 2024年4月～2025年3月

#### 1. 技術スキル・知識

PythonやTypeScriptなどの使用経験が豊富で、API設計やCI/CDの導入にも積極的に取り組んでいる。AWS環境での開発知識も広がり、チーム内での技術サポートを担っている。

#### 2. 業務遂行力

要件の理解が正確で、仕様変更にも柔軟に対応できている。作業スピードは安定しており、期日内に品質の高いアウトプットが出せている。

#### 3. チームでの協働・コミュニケーション

コードレビューでは丁寧なコメントを心がけており、Slack等での報連相も円滑。新人エンジニアへの指導にも熱心に取り組んでいる。

#### 4. 問題解決力・主体性

既存システムのパフォーマンス改善提案を行い、自らプロトタイプの実装まで行った点は特筆に値する。課題を発見した際には、自主的に調査・検証を進める姿勢が見られる。

#### 5. 成果・実績

新サービスのAPI設計と実装を主導し、3ヶ月でリリースに成功。定期的に社内勉強会を開催し、ナレッジ共有にも貢献している。

#### 6. 自己評価・今後の目標

今年はコードの質だけでなく、設計力の向上にも意識して取り組んできた。今後はアーキテクチャ設計やプロジェクトマネジメントにも挑戦し、開発全体を見渡せるエンジニアを目指したい。

#### 7. 上司からのフィードバック

幅広い業務に主体的に取り組んでおり、技術面・チーム貢献の両面で安定したパフォーマンスを発揮している。今後は若手の育成や設計面のリードなど、より一層の活躍を期待したい。